

問 補正後の保健衛生費中、病院への繰出金が22億6千万円だが財源の詳細を

答 財源内訳は電源立地促進対策交付金2億7千万円、長期発展交付金2億円の計4億7千万円の国庫補助金で、残りの17億9千万円が一般財源です。

問 県と密接な連絡を取り、医師確保に努めていると聞いているが県の支援状況は

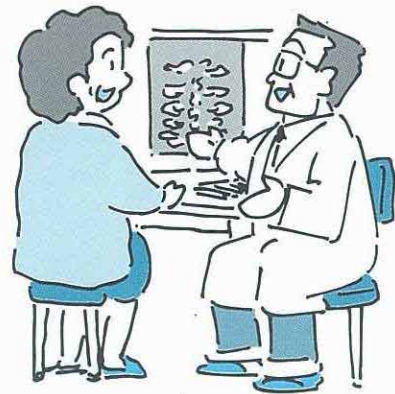
答 医療担当の県理事(部長級)が中心となって浜松医大に医師派遣を働きかけています。

問 給与費・経費の減額が少なく、経営努力に疑問を抱いているが何名医師確保の見通しがあるのか

答 給与費は、病院職員の正規・非常勤、延べ350名の人員費であり、減額は控えめにしました。材料費、経費についても確実に見込める範囲です。

問 他の病院・医師会と連携と言っているが負担金や協力費を求められるのではないのか

答 今後、他の病院に一方的にお願いする事になりますと、ご指摘のように負担金等の要請も懸念されます。何としても医師を確保してそのような事態を招く事のないよう努力してまいります。



岡村 勝 議員

問 補正額6億9千800万円について、上半期の未処理欠損金との差額2億2千448万円の説明を

答 下半期の収支計算をすると内科患者の減少するなかで、経費の減額に努力しても、どうしても6億9千800万円の不足になりますので、一般会計からの繰り入れをお願いするものです。

問 給与費の占める割合が高くなっているが是正の見通しは

答 支出の大半は人件費でありこの割合を下げるのが病院会計の健全性につながることは十分に承知しているが、患者が減少したからといって直ちに職員数を減らすことは病院の立て直しに支障を生ずることになるのでご理解をいただきたいと思っています。

問 機器の購入について説明を

答 本年度購入した主要な機器は電源立地地域対策交付金備品で、入院患者用電動ベッド163台、非常用自家発電装置、高速らせんCTです。この高速らせんCTにつきましては、9年を経過し、機器の故障やコンピュータのエラーも多く、どの診療科においても使用する機器であり、病院機能を維持する上で最も必要でありまして、今回更新をお願いしたものです。